

令和6年10月3日(木曜日) 午前9時30分 開会

1. 議事日程

- 日程第1 会議録署名議員の指名について
- 日程第2 報告について
- 日程第3 会期の決定について
- 日程第4 令和5年度半田常滑看護専門学校管理組合歳入歳出決算の認定について

2. 出席議員は次のとおりである(8名)

1番	加	藤	久	豊
2番	伊	藤	史	郎
3番	中	村	崇	春
4番	齋	田		資
5番	渡	邊	昭	司
6番	鈴	木	幸	彦
7番	鈴	木	英	華
8番	田	中	嵩	久

3. 地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名

管 理 者	半田市長	久	世	孝	宏
副 管 理 者	常滑市長	伊	藤	辰	矢
常滑市こども健康部長		入	山	佳代	子
常滑市民病院事務局長		小	羽	正	昭
半田市福祉部長		竹	部	益	世
市立半田病院事務局長		坂	元	照	幸
会計管理者		齋	藤	政	樹
半田常滑看護専門学校	校 長	渡	邊	和	彦
半田常滑看護専門学校	副 校 長	竹	内	珠	枝
半田常滑看護専門学校	事 務 長	榊	原	宏	之
半田常滑看護専門学校	副 主 幹	山	田	茂	樹

○議長（渡邊昭司議員）

皆さん、おはようございます。

ただいまから令和6年第3回半田常滑看護専門学校管理組合議会定例会を開会いたします。ただいまの出席議員は、8名です。

定足数に達しておりますので、ただちに本日の会議を開きます。本日の議事日程はお手元に配布したとおりです。

議事日程に入ります前に、管理者から挨拶の申し出がありましたので、これを許します。

○管理者（半田市長 久世孝宏）

皆さま、おはようございます。管理者半田市長の久世孝宏でございます。本日は、令和6年第3回半田常滑看護専門学校管理組合議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位にはご多用のところ、ご出席を賜り誠にありがとうございます。また、日頃より当組合の運営に対しまして、多大なるご理解とご協力を賜りお礼を申し上げます。

議案のご審議に先立ち本校の近況につきましてご報告をさせていただきます。

はじめに、去る8月29日木曜日に、主に高校生を対象とした看護学校体験入学を開催しました。参加者数は72名で、校内の見学、看護体験、在校生等との懇談会を行いました。この懇談会には、市立半田病院、常滑市民病院の看護師として活躍している本校卒業生も参加し、本校の魅力や仕事のやりがいなどを参加者に伝えていただきました。これは、両病院と近い関係にある、本校ならではの催しであります。来週10月10日には、中部国際空港消火救難・救急医療活動総合訓練へ本校から2年生が参加する予定であります。中部国際空港における訓練は、本校の特徴であります災害看護の一環として、学生は、負傷者役などのメイクをし、迫真の演技で訓練を盛り上げる予定であります。また、10月21日には、看護宣誓式を挙行いたします。入学して半年が経過する1年生が看護の道に進む自覚を新たに「誓いの言葉」を力強く宣誓します。議員の皆様におかれましては、大変ご多用のところではありますが、ご出席していただきますようよろしくお願い申し上げます。

報告は以上であります。本日ご審議いただく議題につきましては、「令和5年度決算の認定」をお願いいたしております。

よろしくご審議のうえ、認定賜りますようお願い申し上げます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○議長（渡邊昭司議員）

これより議事に入ります。

『日程第1』会議録署名議員の指名についてを行います。

会議録署名議員は、議長において、3番中村崇春議員、7番鈴木英華議員を指名します。

○議長（渡邊昭司議員）

『日程第2』報告であります。監査委員から議長のもとに、令和6年6月分から令和6年8月分までの例月出納検査結果報告書の提出があり、配布した資料のとおりでありますので、これをもって報告に代えます。

○議長（渡邊昭司議員）

『日程第3』会期の決定についてを議題とします。
お諮りします。
本定例会の会期は、本日1日としたいと思います。
ご異議ありませんか。

【異議なしの声あり】

ご異議なしと認めます。
よって会期は、本日1日と決定しました。

○議長（渡邊昭司議員）

『日程第4』認定第1号を議題とします。
当局の提案説明を求めます。

○事務長（榊原宏之）

ただいまご上程いただきました、認定第1号令和5年度半田常滑看護専門学校管理組合歳入歳出決算の認定について、その概要をご説明いたします。議案書1ページをお願いいたします。

認定第1号は、地方自治法第233条第3項の規定に基づき、監査委員の意見を付して、議会の認定をお願いするものであります。

それでは、始めに令和5年度半田常滑看護専門学校管理組合歳入歳出決算書をご覧ください。決算書1、2ページをお願いいたします。

歳入合計は予算現額1億6,967万4,000円に対しまして、収入済額が1億6,881万1,751円で、予算現額と収入済額との比較はマイナス86万2,249円となっております。

次に、歳出合計は予算現額1億6,967万4,000円に対しまして、支出済額が1億5,862万3,262円で、予算現額と支出済額との比較はマイナス1,105万738円となっております。3ページをお願いいたします。

歳入歳出差引残額は1,018万8,489円となり、翌年度へ繰り越すものであります。

主な内容につきまして事項別明細書により、歳入からご説明いたします。
事項別明細書5、6ページをお願いいたします。

1 款分担金につきましては、収入済額 1 億 3,274 万 6,000 円で、歳入の 78.6%を占めております。内訳は備考欄に記載のとおり、半田市が 9,358 万 6,000 円、常滑市が 3,916 万円であります。

次に、2 款使用料及び手数料につきましては、収入済額 2,690 万 6,992 円で、主に 2 項 1 目手数料の 3 節授業料収入 2,026 万 7,000 円であります。3 款財産収入につきましては、収入済額 37 万 8,980 円で、主に自動販売機 2 台分の設置場所貸付に係る収入であります。7、8 ページをお願いいたします。4 款繰越金につきましては、収入済額 855 万 6,988 円で、令和 4 年度決算における繰越金であります。

次に、5 款諸収入につきましては、収入済額 22 万 2,791 円で、主にコピーカード売払収入であります。以上、歳入合計は予算現額 1 億 6,967 万 4,000 円に対しまして、収入済額 1 億 6,881 万 1,751 円で 99.5%の収入率となっております。

続きまして、歳出についてご説明いたします。9、10 ページをお願いいたします。1 款議会費につきましては、支出済額 32 万 1,600 円で、組合議員 8 人分の報酬であります。次に、2 款学校費につきましては、支出済額 1 億 5,830 万 1,662 円で歳出全体の 99.8%となります。内訳として、2 節給料から次のページ 4 節共済費につきましては、教職員 12 人分の給料等の職員人件費であります。不用額の主な要因は、4 月から採用の職員が見つからず、6 月採用となったことが主な要因であります。11、12 ページの 7 節報償費は、授業の講師として派遣を依頼した、外部講師に対する謝金が多額であります。13、14 ページをお願いいたします。

8 節旅費は、108 万 7,515 円で、外部講師の交通費が多額であります。不用額の主な要因は、研修や学会がオンラインでの開催に切り替わったことによるものです。9 節交際費は、8,250 円で、組合議員親族の葬儀の生花代です。

10 節需用費は、光熱水費として電気代やガス代、修繕料では、特にガス空調機関連の修繕にて約 4 割を使用しています。不用額の主な要因は、光熱水費において、国の「電気・ガス価格緩和対策事業」があったことによるものです。

11 節役務費は、57 万 1,540 円で、電話料、郵便料など通信運搬費が多額であります。15、16 ページをお願いいたします。12 節委託料は、1,264 万 9,437 円で、空調設備保守点検委託料、施設清掃委託料、実習委託料、次のページの講義委託料に係る費用が多額であります。17、18 ページの 13 節使用料及び賃借料は、主に情報科学実習室及び教務室等パソコン借上料であります。19、20 ページをお願いいたします。

17 節備品購入費 120 万 9,450 円で、実習教材として CPS 実習ユニットなどを購入しました。18 節負担金、補助及び交付金は 2,011 万 6,928 円で専任教員派遣元の半田市に対します 3 名分の人件費負担金が多額であります。決算書 21、22 ページの 22 節償還金、利子及び割引料は、5 万円で、国の高等教育の修学支援新制度により入学金の免除又は減額分を過年度歳入還付金として学生に還付いたしました。最後の 3 款予備費につきましては、支出はありませんでした。

以上、歳出合計が予算現額 1 億 6,967 万 4 千円に対しまして、支出済額が 1 億

5,862万3,262円となっております。

続きまして、25ページは、「実質収支に関する調書」で、歳入歳出差引額及び実質収支額ともに1,018万8,489円となりました。また、27、28ページは「財産に関する調書」で、1.公有財産、及び2.物品の内容に関しましては、前年度と変更はございません。

次に、別冊の令和5年度決算に係る主要施策の成果報告書をご覧ください

報告書3ページをお願いいたします。令和5年度決算につきましては、先程と重複しますので説明を省略させていただきます。報告書4ページをお願いいたします。項番2、主要事業についての(1)教育目的・教育課程につきましては、令和4年度に入学した学生より新カリキュラムが始まり、教育課程に基づく教育を実施いたしました。報告書5ページをお願いいたします。(2)職員体制につきましては、退職した専任教員1名の補充として令和6年度採用の専任教員を募集しましたが、4月に採用できなく、9月の採用となりました。(3)学生の状況につきましては、18歳人口の減少、看護系大学への進学指向が高い中、学生の確保はますます厳しさを増している状況であります。報告書6ページの②卒業者数・国家試験の状況をご覧ください。令和5年度の卒業生は40人中38人が国家試験に合格をしました。国家試験の本校の合格率は、近年95から100%を維持し、全国平均を上回っております。学生一人ひとりが、頑張った結果であります。今後も国家試験対策を実施し、教職員一丸となって学生支援に取り組めます。

③の表は、卒業後の進路についてであります。令和5年度卒業生40人中母体病院を就職先として選択した人数は29人で、母体病院就職率は72.5%でした。

令和6年度入学生の入学試験の状況につきましては、記載のとおりで、18歳人口の減少等により、受験者数が減っている状況であります。報告書7ページをお願いします。学校行事につきましては、看護体験入学、看護宣誓式、学校祭を開催しました。海外研修旅行については、中止となり、代えとして、「JICA中部なごや地球ひろば訪問プログラム」を受講し、国際協力の体験談の講義を受けるなど日本の看護を考える機会となりました。

説明は以上です。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（渡邊昭司議員）

説明は終わりました。

これより質疑に入ります。ご質疑ありませんか。

【なしとの声あり】

ないようですので、これで質疑を終わります。

これより討論に入るのでありますが、いまのところ、通告はありませんので、討論を省略し、採決します。

本案は、認定することにご異議ありませんか。

【異議なしの声あり】

ご異議なしと認めます。

よって、認定第1号は認定することに決定しました。

以上で、今定例会に付議された事件はすべて終了しました。

これにて、令和6年第3回半田常滑看護専門学校管理組合議会定例会を閉会します。

9時44分 閉会